

なぜ今、市町村合併なのか？

市町村合併とは、2つ以上の市町村が1つになって、市町村の規模を拡大することですが、なぜ今議論されているのでしょうか？

その理由は大きく分けて5つあります。

1 住民の行動範囲の広域化

都市化の進展や、交通手段の発達によって、通勤・通学・買物など、私たちの生活圏は市町村の枠を超えて広がっています。住民の生活圏に見合った広い地域での住環境を整えるために、現在の行政区域を見直す必要が出てきています。新宮町でも国道3号の6車線化やJRの快速電車の停車によって、住民の行動範囲がより広域化しています。

2 財源をめぐる環境の変化

国も地方も多くの借金を抱えています。これまで地方は、国から地方交付税などの形でお金をもらうことで、一定の住民サービスを提供してきましたが、国の財政が厳しいため、今後とも地方交付税の先細りが予想されます。これからは、市町村の基盤強化と効率的な行財政運営が求められています。新宮町も例外ではなく、厳しい財政状況の中、事務事業の見直しや公共事業の抑制が求められています。

3 少子高齢化への対応

少子高齢化は、市町村が抱える大きな課題となっています。税金を負担する人が減る一方で、保健・医療・福祉等への支出が増加するため、広い地域が一体となってサービス体制を整えることが求められています。新宮町でも、急激ではないものの高齢化は着実に進展します。こうした高齢化に伴う福祉サービスの質と量の増加にどのように対応するのかが検討課題となっています。

4 地方分権の時代への対応

地方分権の時代には、地方自治体が「自ら考え、自ら行う」ことが必要とされます。自治体が住民の期待に応えられるサービスを提供するためには、専門的な人材の確保や、緊急課題に迅速に対応できる体制作りが必要とされます。



ここでは、一般的な合併のメリットを取り上げています。これらの問題は、一般的には合併することによってある程度解決する可能性が高くなるということが言えますが、必ずしも合併によって全てが解決する訳ではありません。